

習志野市教育委員会会議録
(令和6年第1回臨時会)

- | | | | | | | | | | |
|--------|---|--------|---------|--------|---------|------|---------|-----|---------|
| 1 期 日 | 令和6年8月7日(水)
市庁舎5階委員会室
開会時刻 午後1時30分
閉会時刻 午後2時30分 | | | | | | | | |
| 2 出席委員 | <table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%;">教 育 長</td><td style="width: 50%;">小 熊 隆</td></tr><tr><td>委 員</td><td>赤 澤 智津子</td></tr><tr><td>委 員</td><td>高 橋 浩 之</td></tr><tr><td>委 員</td><td>馬 場 祐 美</td></tr></table> | 教 育 長 | 小 熊 隆 | 委 員 | 赤 澤 智津子 | 委 員 | 高 橋 浩 之 | 委 員 | 馬 場 祐 美 |
| 教 育 長 | 小 熊 隆 | | | | | | | | |
| 委 員 | 赤 澤 智津子 | | | | | | | | |
| 委 員 | 高 橋 浩 之 | | | | | | | | |
| 委 員 | 馬 場 祐 美 | | | | | | | | |
| 3 出席職員 | <table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%;">学校教育部長</td><td style="width: 50%;">島 本 博 幸</td></tr><tr><td>教育総務課長</td><td>早 川 誠 貴</td></tr><tr><td>指導課長</td><td>利根川 賢</td></tr></table> | 学校教育部長 | 島 本 博 幸 | 教育総務課長 | 早 川 誠 貴 | 指導課長 | 利根川 賢 | | |
| 学校教育部長 | 島 本 博 幸 | | | | | | | | |
| 教育総務課長 | 早 川 誠 貴 | | | | | | | | |
| 指導課長 | 利根川 賢 | | | | | | | | |

4 議題

第1 議決事項

議案第24号 令和7年度使用教科用図書の採択について
(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)

第2 その他

5 会議内容

小熊教育長

令和6年習志野市教育委員会第1回臨時会の開会を宣言

小熊教育長

本会議の審議を傍聴したい旨の申し出が15名からあり、希望者について受け入れること、また、今後の傍聴の申し出について、受け入れが可能な範囲で受け入れることについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

小熊教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、高橋委員の退席を求めた。

〈 高橋委員 退席 〉

議案第24号 令和7年度使用教科用図書の採択について(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)
(指導課)

利根川指導課長

議案第24号「令和7年度使用教科用図書の採択について(中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書)」について、説明する。本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定に基づき、学校教育法第34条第1項、第49条及び附則第9条第1項に規定され、さらに、習志野市教育委員会行政組織規則第3条第16号に規定する、令和7年度使用中学校教科用図書及び特別支援学級使用の一般図書の採択について、御審議いただくものである。なお、事前に教育委員の皆様には、閲覧していただいているが、今一度、御覧いただく時間を後程設けたいと思う。

スライド番号2を御覧いただきたい。中学校用教科用図書について説明する。中学校用教科用図書の採択については、改正学校教育法附則第9条第1項の規定により、教科書以外の教科用図書を使用する場合を除き、令和7年度使用中学校用教科書目録に登載されている教科書のうちから採択しなければならないとされている。さらに、教育委員会第5回定例会議案第16号にて御承認いただいた「令和6年度教科用図書葛南東部採択地区協議会規約」第10条第4項に基づき、スライドの表にある、見本本の送付のあった発行者の全ての教科用図書について、調査研究を行った。

スライド番号3を御覧いただきたい。調査研究にあたっては、千葉県教育委員会による令和6年6月3日付け教学指第462号、「令和7年度使用教科用図書選定資料」に基づき、「学習指導要領への対応」、「内容」、「造本」の3つの視点で行った。令和6年7月22日に開催した、令和6年度

第2回教科用図書葛南東部採択地区協議会において、中学校17種目それぞれの特徴等、公正公平かつ細部に至るまで丁寧に調査した結果を、研究調査委員長から報告を受け、選定を行った。

スライド番号4を御覧いただきたい。種目ごとの調査研究報告の概要と選定結果について報告する。国語は、教育出版「伝え合う言葉 中学国語」を選定した。東京書籍「新編 新しい国語」は、各教材において「問いかけ」があり、「見通す(目標)」から、「つかむ」、「読み深める」、「考えを持つ」、「振り返る」という学習の流れが示されている。また、同テーマで読み比べや読み広げをするなど、読書に親しみ、読書によって人生を豊かにしようとする態度を育てる工夫がみられ、本県の実施策の実現に資する内容となっている。三省堂「現代の国語」は、巻頭に「思考ツール」が示されていること、豊かな言語活動、読書活動の充実が図られる題材を取り入れており、書籍紹介も充実していて、読み方を学ぶ教材としても有効であるとの報告があった。光村図書「国語」は、巻末に「語彙ブック」を配置し、表現力等を育成できるように工夫されていることと、生徒の色覚等に配慮された造本となっている。また、古文において、4社の中で、唯一横に現代語訳が記述されており、参考書のような斬新な作りとなっているとの意見があった。

スライド番号5を御覧いただきたい。選定された、教育出版「伝え合う言葉 中学国語」は、多様性やSDGs等の現代的な話題を取り扱っていることや、現代社会における諸課題を扱った確かな学力を育む教材が内容として盛り込まれている。併せて、豊かな言語活動、読書活動の充実が図られている点が他社と比較して優位であることや、教材の継続性の観点から適切と判断した。

スライド番号6を御覧いただきたい。書写は、教育出版「中学書写」を選定した。東京書籍「新しい書写」は、基本単元は、「みつけよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3つのステップで学習過程を統一することで、書写で目指す資質・能力の育成が主体的な学びの中で身につくように工夫されている。また、書写の学習をとおして、日本語で文字を書くことや、言語に関わる文化に触れ、我が国の伝統と文化を尊重し、継承しようとする態度を養えるように配慮されている。三省堂「現代の書写」は、教科の指導目標に即して、各教材で学習すべき重要事項が明確に示されている。毛筆で書いて習得したことを、他教科の学習や日常生活、社会生活でも利用できるように、硬筆の書き込みページが多く設けられている。光村図書「中学書写」は、学習の目的や重点を3つのステップで明示し、見通しをもって主体的に学べるようにしてある。また、他の教科や日常生活で活用できる教材を広く使用し、書写の資質・能力が育まれるように配慮されている。

スライド番号7を御覧いただきたい。選定された、教育出版「中学書写」は、主体的・対話的な学びを実現するために、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」という項目が設けられており、学習過程が明示されている。書体による運筆の違いや効果的な配列を学習する教材となっており、身に付けた技能を実社会で活用することを目指した、より深い学びが実現できるように工夫されている。選定に際し、先ほど申し上げた工夫に加え、お手本の大きさや、書初めの時の課題の内容等、課題の継続性の観点からも適切と判断した。

スライド番号8を御覧いただきたい。地理は、東京書籍「新しい社会 地理」を選定した。教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」は、単元ごとの流れを提示し、見通しをもって学習を進めることができ、単元の最後に表現のコーナーを設け、対話的な学習に取り組めるようにしている。また、社会科3分野の関連箇所を「関連マーク」で示すことで、社会をより深く理解できる構成になっている。帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」は、社会的現象の地理的な見方・考え方を育むよう、内容を系統的に配列し、導入部分では写真を多用することで、これから学習する地域のイメージをしやすい工夫がなされている。また、地図については、他社に比べ、詳しいという意見があった。日本文教出版「中学社会 地理的分野」は、「地理＋α」などのコラムで発展的な学習への配慮があり、二次元コードを使用してアクセスできるポートフォリオなどが利用でき、個別最適な学びに配慮されている。

スライド番号9を御覧いただきたい。選定された、東京書籍「新しい社会 地理」は、主体的・対

話的で深い学びの実現のために各章の構成が導入・展開・まとめとなっており、生徒が課題をつかむための例が示されている等工夫されている。また、持続可能な社会の実現に向きかけとなる内容を扱い、二次元コードを使い、他教科との関連を意識した学習ができるようになっている。また、小学校からの継続性、地図の内容も詳細なものが使用されていることも併せて、適切と判断した。

スライド番号10を御覧いただきたい。歴史は、教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」を選定した。東京書籍「新しい社会 歴史」は、各章の導入部や本文にある、「みんなでチャレンジ」で個人やグループを通して対話的な活動を、「スキル・アップ」で資料の読み取りや統計資料作成など、基礎的、基本的な技能の定着に取り組めるようになっている。帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」は、「タイムトラベル」、「世界とのつながりを考えよう」、「アクティブ歴史」が設けられ、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育む工夫がなされている。山川出版社「中学歴史 日本と世界 改訂版」は、社会科の目標に即して、歴史的な見方、考え方を働かせるための発問が各項に設けられていること、世界の歴史の内容を充実させることに特色があった。日本文教出版「中学社会 歴史的分野」は、各編の導入部で、前の時代と比較して、学習する時代の特徴などを絵や解説で主体的に考える意識を持たせ、生徒の目線に立った体験活動を取り入れている。自由社「新しい歴史教科書」は、章始めに小学校学習の確認、章末に「調べ学習」、「復習問題」、「対話とまとめ図」のページ等が配置され、課題解決的な学習の構造化をとおして言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むように工夫されている。育鵬社「新しい日本の歴史」は、本文の「見方・考え方」、「TRY!」、「資料活用」などの問いをとおして、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むように工夫されている。学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」は、部冒頭にて、大きく時代を見渡した学習課題を提示し、章末・部末に振り返りや学習のまとめ「歴史を体験する」で体験活動が取り入れられている。令和書籍「国史教科書 第7版」は、各章の導入部で年表と学習課題を示すことで、時代の特徴を捉えさせ、興味関心を喚起し、「展覧会に行こう」などで体験活動が取り入れられている。造本が目を引き、歴史好きな生徒には良いかもしれないとの意見があった。

スライド番号11を御覧いただきたい。選定された、教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」は、単元や節等において設定された「学習課題」を解決するために、「THINK!」で資料の読み取り、「確認」、「表現」にて振り返りの活動を行うことで、言語能力、情報処理能力、問題解決能力等を育むよう工夫されている。また、歴史的な事象を系統的に配列し、各編の「学習のまとめと振り返り」では、年表や地図を活用しながら知識の定着を図り、対話的な学びを行い、協働的な学びをとおして発展的に学ぶことができる構成となっている。歴史的な事象をしっかりと捉えさせるために教科書を読ませたいという意見があった。資料の読み取りがしやすく、学習全体が構造化されている点から、引き続き教育出版が適切と判断した。

スライド番号12を御覧いただきたい。公民は、東京書籍「新しい社会 公民」を選定した。教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」は、社会科の目標に即して、現代社会についての見方・考え方をマークで示し、思考力・判断力・表現力を高める活動場面を全編に位置づけ、問題解決的な学習課題をとおして主体的に社会と関わろうとする態度を養うよう内容が取り上げられている。帝国書院「社会科 中学生の公民 より良い社会を目指して」は、学習指導要領の「目標」、「内容」、「内容の取り扱い」を踏まえ、主体的・対話的で深い学びに向かう単元構成となっている。日本文教出版「中学社会 公民的分野」は、「明日に向かって」等で、社会参画を促す題材や学習活動が設定される等、教科等横断的な活動に活用できるように配慮されている。自由社「新しい公民教科書」は、各章の「学習の発展」や、レポート、ディベート等の活動を設けるなど、教科等横断的な探究学習に活用できるように配慮されている。育鵬社「新しいみんなの公民」は、各章の「〇〇の入り口」、「〇〇のこれから」等で、話し合い、発表等の活動を設ける等、教科等横断的な活動に活用できるように配慮されている。

スライド番号13を御覧いただきたい。選定された、東京書籍「新しい社会 公民」は、主体的・対話的で深い学びとなるよう「問い」を中心とした課題解決的な単元構成と、個人、グループ活動が行いやすい教材を掲載している。また、6つの章に分かれており、課題解決的な流れで構成されている。また、各単元では到達目標を明示し、見通しをもって学習できるようになっていることから適切と判断した。いずれの出版社も、多色刷りが多く、資料集のようであり、学習しやすくなっていると感じるとの意見があった。

スライド番号14を御覧いただきたい。地図は、帝国書院「中学校社会科地図」を選定した。東京書籍「新編 新しい社会 地図」は、地図を深く読み取るためのヒントとなる「Bee's eye」の問いを各ページに載せ、主体的に学習できる工夫がなされている。

スライド番号15を御覧いただきたい。選定した、帝国書院「中学校社会科地図」は、生徒の資料を読み取る力を高めるため、地図を深く読み取るよう、「地図で発見！」のコーナーを各ページに載せ、主体的に学習できる工夫がなされている。また、各州・各地方の特色に合わせた資料を地図、鳥瞰図、多数の資料の順番で提示し、より発展的に学習できる工夫がされている。併せて、これまで帝国書院の地図は長く使用してきた経緯もあり、生徒・教師が慣れているものが良いという意見もあった。

スライド番号16を御覧いただきたい。数学は、啓林館「未来へひろがる数学」を選定した。東京書籍「新編 新しい数学 MATH CONNECT 数学のつながり」は、各章に「章タイトル」を設定し、章をとおして身に付けてほしい資質・能力を生徒に伝えられるようにしている。また、各節に学習の目当てを設定し、見通しを持って学習に取り組むことができるようになっている。大日本図書「数学の世界」は、各章の導入の場面で日常生活から問題を見出すことや、問題解決の流れを明記することで数学的な見方・考え方を働かせることができるように工夫している。間違った問題例に基づいて問題を解決できるという内容に関心があるという意見もあった。学校図書「中学校数学」は、導入段階で「Question」という形で対話が設けられるなど、取り掛かりやすくなっている。具体性があり、問題に対して見通しを立てて解決できるよう工夫されており、「主体的・対話的で深い学び」の実現がされている。教育出版「中学数学」は、全ての章で「章とびら」が設けられており、実生活や日常生活、先端テクノロジー等、他教科との関連性を考えさせられる素材が多く、教科等横断的な課題が取り上げられている。数研出版「これからの数学」は、身の回りの課題や、最近の課題などを取り上げ、多様な考えや誤った考えを示すなどして、生徒が興味を持ち、主体的に学べるような工夫がされている。日本文教出版「中学数学」は、主体的に学習に取り組む態度を見取りやすくするための「ふり返しシート」が用意されている。また、対話文を多く取り入れ、疑問をもって学べる工夫がされている。

スライド番号17を御覧いただきたい。選定された、啓林館「未来へひろがる数学」は、数学的活動をとおして主体的に取り組めるように導入課題を設定しており、「説明しよう・話し合おう・まとめよう」では、自分の考えを伝える、他者の考えと比較する等の対話による学習を設定し、主体的・対話的で深い学びの充実を図っている。また、全国学力・学習状況調査で判明した生徒の課題を反映した問題を設定することで、習志野市の学力向上につながる事が考えられることから判断した。

スライド番号18を御覧いただきたい。理科は、啓林館「未来へひろがるサイエンス」を選定した。東京書籍「新編 新しい科学」は、他教科との関連では教科名を明記し、STEAM教育やSDGsに対応させるとともに、日常生活や社会とのつながりを深めながら教科等横断的な学習が進められるように工夫されている。大日本図書「理科の世界」は、対話しながら学びを深めていくイメージを一人ひとりの生徒がもてるように工夫されている。また、様々な単元で関東近辺の特色を取り上げた写真が掲載されている。学校図書「中学校科学」は、各章ごとにSDGsの目標を提示し、多角的に考えられるような工夫とともに、1時間ごとに見方・考え方を提示している。教育出版「自然の探究 中学理科」は、巻頭に各学年の学習段階に合わせた「探究の進め方」が提示されている。

また、折り込みを設け、探究の過程を確認しながら取り組めるようになっている。単元ごとに学習内容を示し、学習が進めやすくなるようにレイアウトが工夫されている。

スライド番号19を御覧いただきたい。選定された、啓林館「未来へひろがるサイエンス」である。理科はこれまで大日本図書を選定していたが、今回は啓林館を選定した。この啓林館の教科用図書は、章導入にて生徒が主体的に問題を見出せるような写真を使い、動画も提供されている。様々な場面で学習内容から生じた疑問を探究する活動が用意されており、学びを深められるように工夫されている。また、WEBコンテンツや視覚的資料により個別最適な学習における理解を支援していることから判断した。インパクトのある写真の使用や最新の科学技術が紹介されている点など、生徒に興味を持たせる工夫があることが良いという意見も多くあった。

スライド番号20を御覧いただきたい。音楽(音楽一般)は、教育芸術社「中学生の音楽」を選定した。教育出版「中学音楽 音楽のおくりもの」は、歌唱・鑑賞・創作における題材を貫く目標や学習の進め方を示すとともに、教科書に記入するページを効果的に配置し、主体的に学べるように工夫されている。

スライド番号21を御覧いただきたい。選定された、教育芸術社「中学生の音楽」は、学習の目標を明確に示すとともに、生徒が思考できる問いがあり、主体的に学べるよう工夫されている。多様な曲種の音楽を取り上げ、生活や社会と音楽との関連や他教科との横断的な学習が展開できるよう工夫されている。音楽は小学校では他社の教科書が使用されているが、中学校においては、専科教員が指導することを踏まえた場合、教育芸術社の方がより使いやすいという意見があった。

スライド番号22を御覧いただきたい。音楽(器楽合奏)は、教育芸術社「中学生の器楽」を選定した。教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」は、楽器の演奏方法を学ぶための手順が、管楽器・弦楽器・打楽器の順番で分かりやすく示されている。また、身近な音楽から諸外国の音楽まで幅広く教材を取り上げ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む工夫がされている。

スライド番号23を御覧いただきたい。選定された、教育芸術社「中学生の器楽」は、多種多様な音楽文化や地理的及び歴史的背景や特徴などに触れ、古今東西を問わない多彩な選曲により、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む工夫があることと、学習内容や手順が西洋楽器・和楽器・打楽器の順番で系統的に示されている。また、伝統的に引き継がれてきた曲からテレビ・映画等の曲までバランスよく配置されていることや、「音楽一般」が教育芸術社であることから内容の一貫性を踏まえて判断した。

スライド番号24を御覧いただきたい。美術は、開隆堂「美術」を選定した。光村図書「美術」は、内容配分が適切であり、題材での学びを次の活動に生かせるよう、系統性を持たせた構成となっている。また、多様な題材が多く掲載されており、生徒の興味関心を高められるような工夫がされている。日本文教出版「美術1 美術との出会い」、「美術2・3上 学びの実感と深まり」、「美術2・3下 学びの探求と未来」は、冒頭に3年間の発達段階に応じた学びの道筋が示されており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。

スライド番号25を御覧いただきたい。選定した、開隆堂「美術」は、世界的に活躍するデザイナーや芸術家が美術の力を生かし、社会とつながりながら活躍する姿を紹介し、美術や美術文化がなぜ必要なのかを考えられるように工夫されている。また、作品の一部が原寸大で掲載されていることから、より豊かな鑑賞ができることや、様々な作品が数多く掲載されていることにより、指導と学びの参考になりやすいとの意見もあり判断した。

スライド番号26を御覧いただきたい。保健体育は、東京書籍「新しい保健体育」を選定した。大日本図書「中学校保健体育」は、主体的・対話的で深い学びとなるように、「つかもう」、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」という3ステップで単元が構成され、生徒の興味関心を引き出し、主体的に学習が進められるように配慮されている。大修館書店「最新 中学校保健体育」は、3つの資質・能力をバランスよく育むことができるように学習の進め方が明示され、特に重要な身に付

けるべき技能は、「技能ポイント」として箇条書きで簡潔に示されている。学研「新・中学保健体育」は、主体的な学びを実現するために、導入部分の発問「ウォームアップ」や口絵等で何を学ぶのか主体的に捉えることができるように工夫されている。

スライド番号27を御覧いただきたい。選定された、東京書籍「新編 新しい保健体育」は、主体的・対話的で深い学びとなるように、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「活用する」、「広げる」というステップで課題解決的に学習を進められるように構成されている。また、興味・関心に応じて学びを深め、広げることができる資料やコンテンツが豊富に用意され、二次元コードで活用できるように工夫されていることや、今回の改訂において新たに防災教育などの現代的な課題を取り扱っているという意見もあり判断した。

スライド番号28を御覧いただきたい。技術・家庭(技術分野)は、東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」を選定した。教育図書「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」は、生徒が主体的に取り組めるよう授業の流れが見える紙面となっている。また、他教科との関連を示すマークが掲載され、幅広い知識が身につくよう工夫されている。開隆堂「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」は、各学習課題をとおして、生徒が授業に積極的に取り組める配慮がなされており、活動をとおして他者との関わりの中で理解を深める工夫がされている。

スライド番号29を御覧いただきたい。選定した、東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」は、カリキュラムマネジメントが行いやすいように配慮され、リンクマークを用いて教科間・学校種間の連携が高められるように工夫されている。また、様々な学習方法や問題解決の過程がわかりやすく示されており、身近な生活や社会と技術に関連した多くの問題解決例が提示されている。特に技術科は、ICTとの関連も強く、ICTを使って授業を行うことを考えると、東京書籍は全てのページに二次元コードがあり、使いやすく感じるとの意見があり判断した。

スライド番号30を御覧いただきたい。技術・家庭(家庭分野)は、東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を選定した。教育図書「新 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する」は、「つなぐ・つながる」をテーマにこれから学ぶ内容について具体的なイメージが掲載され、学ぶ意欲につながる構成となっている。現代的諸課題に対応し、学習基盤となる資質・能力が育まれるように内容が配慮されている。開隆堂「技術・家庭 家庭分野 自立とともに支え合う生活へ」は、学習のまとまりごとに見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるように工夫されている。また、基礎的基本的な知識技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。

スライド番号31を御覧いただきたい。選定した、東京書籍「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」は、導入・展開・まとめで構成され、思考を深める活動が数多く取り上げられており、主体的に調べたり、友達と協働して比較検討したりするための発問が設けられ、深い学びの実現と問題解決能力を高めるための工夫がされている。幅広い難易度の実習例を豊富に掲載し、個に応じた学習を深めていくことができるよう工夫されていること、併せて二次元コードが以前のもものと比較して3.9倍になっていることから判断した。

スライド番号32を御覧いただきたい。外国語は、啓林館「BLUE SKY English Course」を選定した。東京書籍「NEW HORIZON」は、SDGsのような今日的な内容が盛り込まれており、日常生活と結び付けて英語学習ができるような工夫がされている。3年間で身に付けたいことの見通しが4技能5領域にわたって明確に示されている。開隆堂「Sunshine English Course」は、各単元において言語の使用場面、状況、目的が明確に設定されており、それらに応じた多様な言語活動が工夫されている。三省堂「NEW CROWN English Series」は、全学年で言語材料が系統的に配列され、各単元で4技能5領域にわたる言語活動がバランスよく配置されている。教育出版「ONE WORLD English Course」は、単元目標を明確化することで、生徒が見通しをもって主体的に学べる構成になっている。言語材料、言語活動、題材については、発達の段階

や興味・関心に配慮されたものが多く、自然と学習できるように配列されている。光村図書「Here We Go！」は、コミュニケーションの目的・場面・状況を明示し、理解したことや生徒が感じたことを表現できるように言語活動が工夫されている。

スライド番号33を御覧いただきたい。選定した、啓林館「BLUE SKY English Course」は、小中接続、中高接続を意識した段階的・発展的に学習が進められるように内容が構成されており、既習事項を活用して学習ができるように工夫されている。また、日本文化と外国文化の比較をする題材、職業や生き方について知る題材等、様々な題材が扱われていることから判断した。現在、英語は小学校と異なる出版社を使用している。小中接続がうたわれている点について意見があったが、小学校の内容を踏まえて中学校の教科書が作成され、発展的な内容となっている。また、他社に比較すると文章量も多く、前回の初探択を踏まえ、継続して指導する方向性で選定してはどうかとの意見があった。

スライド番号34を御覧いただきたい。特別の教科道徳は、光村図書「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」を選定した。東京書籍「新編 新しい道徳」は、写真や漫画等、生徒に身近な題材が教材として掲載されており、学習意欲を喚起し、自ら見出した問題について考え、議論できるように工夫されている。教育出版「中学道徳 とびだそう未来へ」は、教材の冒頭に導入の問いを設定し、見通しをもって主体的に学習できるように工夫されている。いじめなどの人権課題、持続可能な社会、生命の尊さについて年間をとおして学べるよう教材が配置されている。日本文教出版「中学道徳 あすを生きる」は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、多面的・多角的に考えを深めることができるように工夫されている。7社の中で唯一、ノートがついているが、使いやすい半面、考えを深めるのに難しいのではないかととの意見があった。学研「新版 中学生の道徳 明日への扉」は、学びを可視化できる思考ツールや、より深く学ぶための4つのステップをとおして、生徒の主体的な学習態度を育むよう工夫されている。あかつき教育図書「中学生の道徳」は、いじめ、情報モラル、キャリア、共に生きる社会をユニット化し、学びを広げ、深められる構造になっており、現代的な諸課題に対応した資質・能力が育まれるよう工夫されている。日本教科書「道徳 中学校1 生き方から学ぶ」、「道徳 中学校2 生き方を見つめる」、「道徳 中学校3 生き方を創造する」は、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教材の視覚化を図ることで主体的課題を発見し、解決に向かえるよう工夫されている。

スライド番号35を御覧いただきたい。選定された、光村図書「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」は、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、1年間の見通しをもって主体的に学習に臨めるよう工夫されている。教材末の手引きには、学びのテーマを明示し、様々な視点から人間の生き方についての考えを深められるよう工夫されている。また、人権、いじめ、生命の尊重、情報モラルなどについて、自分の問題として考えられるようなコラムが配置され、現代的な諸課題に対応した資質・能力が育まれるよう工夫されていることから判断した。

スライド番号36を御覧いただきたい。特別支援学級で使用する一般図書について説明する。特別支援学級においては、検定された通常の教科書に代わって、一般図書と呼ばれる本を使用することができる。この一般図書は、千葉県教育委員会から、「学校教育法附則第9条の規定による一般図書一覧」が提示されており、市の教育委員会から各学校に周知している。この一覧表の中から各学校で必要に応じて該当の児童生徒に適した図書を選べるようになっており、通常の教科書に代わって無償で給与される。続いて、今年度の葛南東部採択地区協議会における調査・協議についての報告である。「学校教育法附則第9条の規定による一般図書一覧」のリストの備考欄に「R7」と記された4冊について調査・協議を行った。

スライド番号37を御覧いただきたい。特別支援学級で使用する一般図書については、「内容」、「組織・配列」、「表現」、「造本」の4つの視点で、調査研究を行った。

スライド番号38を御覧いただきたい。本年度新たに一般図書の候補となったのは4冊である。特別支援学級で使用する一般図書については、児童生徒の障がいの種類や程度、必要性に合

わせて教科用図書を選ぶことから、選択の幅を持たせることが必要と考え、4冊全てを選定した。

スライド番号39を御覧いただきたい。選定理由についてである。講談社「ブルーナのアイデアブック ミッフィーの1から10まで」は、生活経験と関連しやすい身近な内容で興味関心を持って学習できる。また、数字は大きさ、太さともに強調されており、学習内容が分かりやすい。三省堂「三省堂こどもかずの絵じてん」は、時間やお金など具体物に応じた数え方を挙げ、動物や食べ物などイラストが多く使われており興味を持ちやすい。

スライド番号40を御覧いただきたい。金の星社「やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？」は、イラストを用いて体の部位、男女の違いについて基礎的な仕組みを学ぶことができることと、日常で感じる体の疑問にわかりやすい文章で説明されている。エイデル研究所「あっ！そうなんだ！わたしのからだ」は、日常の場面に沿って、自分の体を大切にすることについて具体的に書かれており、基本的な生活習慣から気持ちの表現、性に関する指導の内容まで扱われている。以上の点から、4冊全てを選定した、と概要を説明

小熊教育長

中学校の教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書について、閲覧の時間を設ける。なお、自席に戻った時点で質疑に入ることにする、と発言

各委員が、各教科書を閲覧

馬場委員

調査研究の3つの観点の中に学習指導要領への対応とあるが、各教科書にはどのように反映されているのか、と質問

利根川指導課長

現在の学習指導要領の中の、「主体的・対話的で深い学び」について捉えられているかということや、新たな課題と現代的な課題への対応等について、各社どのように対応しているのか調査・研究をしている。併せて、言語活動などの部分も、教科書の中でどのように導いているのかという部分も調査・研究の対象とされている、と回答

馬場委員

選定された教科書も対話的な部分を重視したという説明があったので、とても特徴的であると思う、と発言

赤澤委員

理科の教科書について、4年前に採択した出版社を変えた理由を教えてください、と質問

利根川指導課長

調査・研究を進めている中で、啓林館の教科書の方が現在の大日本図書の教科書よりも、さらに豊富な内容になっていることと、視覚的にも生徒の興味を引くような内容になっているということから、今回は啓林館の教科書を選定した、と回答

赤澤委員

4年前も啓林館の教科書は候補にあったと思うが、今回、内容が変わったということか、と質問

利根川指導課長

各教科書が前回のものをベースに、さらに内容を深め、発展させている。その中でも特に今回の改訂で目立ったのは、やはり二次元コードを活用していることである。さらに発展的な学習に進んでいけること、また補助的なものにつなげていけるところがかなり工夫されており、その部分も判断材料となった、と回答

赤澤委員

二次元コードの活用だけが理由ということなのか。内容が現代的になったという理解をしているが、そういう観点では他の教科はいかがか、と質問

利根川指導課長

理科以外の教科書についても、前回検定された教科書に更に二次元コードを使うことによって、同じように充実が図られている。二次元コードを読み取ると、別の資料や動画が閲覧できるが、その部分について違いがある、と回答

馬場委員

歴史の教科書について伺いたい。歴史の解釈に偏りがあってはならないと思うが、各社でそういったことはなかったのか、と質問

利根川指導課長

歴史の教科書の内容の偏りという点については、全ての教科書が検定を合格しており、どの教科書も学習に適しているものと考えている、と回答

馬場委員

各社であまり違いがないように思うが、教育出版が選ばれた理由をもう少し詳しく教えていただきたい、と質問

利根川指導課長

説明にもあったとおり、学習の流れが構造化されていることにより、子ども達にとってもわかりやすく、先生たちにとっても教えやすい構造となっていることも判断材料の1つと考えている、と回答

赤澤委員

スライド番号3に示されている調査研究の3つの観点に関しては特に異論はなく、これを基に調査したと理解している。それぞれの出版社が工夫して教科書を製作している中で、選定するかどうかの判断をするときの観点があれば教えていただきたい、と質問

利根川指導課長

教科により選定するときの観点は異なると思うが、全てに共通することは、やはり子どもに親しみやすい内容となっているかどうかである。子どもが手に取って興味関心を持つような資料が掲載されているのか、また、そういった構成の学習内容になっているのかといった観点である。また、各教科書の中にある、「〇〇をやってみよう」というような問いかけが、子ども達と自然な対話が生まれるような問いかけになっているかといった点も1つの観点になっている、と回答

赤澤委員

現場のリアリティーを非常に感じる観点だと思う、と発言

小熊教育長

どの教科書も図表や写真を含めて、わかりやすく作られているという印象を強く持っている。昨今、教科書に書かれている文章を読んで正しく理解するということが学力向上の基本になるとよく言われるようになってきたが、今回新たに選定された理科の教科書については、どのような特色があったのか説明をしていただきたい、と質問

利根川指導課長

文章を読むということは、読書活動に繋がっていくという点でも、どの教科にとっても非常に大切だと考えている。各社の教科書は文章表現に違いはあるが、大きな差ではなかった。しかし、選定された教科書は、疑問が提示され、それに対する答えが筋道をとおして十分に書かれていると判断した、と回答

小熊教育長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第24号は全員賛成で原案どおり可決された。

小熊教育長

議案第24号の審議が終了したため、高橋委員の除斥を解除した。

＜ 高橋委員 入室 ＞

小熊教育長

令和6年習志野市教育委員会第1回臨時会の閉会を宣言